

各党派

今任期4年間に
振り返って

いばらき自民党



いばらき
自民党会長

飯野 重男

住宅供給公社の破産や、今年度から二十年間も毎年百億円もの保有土地対策を講じなければならぬ事態となるなど、わが党の指摘が現実となった四年間でし

元気度日本一の茨城を目指して

政権交代下で初めて実施されたこの度の県議選では、県民の皆様の心温まるご支持をたまり心より感謝申し上げます。

今任期を振り返ると、わが国経済は、景気停滞の荒波の真ただち中を漂流し続けており、特にその影響は地方経済や若年者の雇用などに顕著であり、極めて深刻な状況にあります。

わが自由民主党は県政の責任政党として、県勢発展に不可欠な広域交通網の整備や企業誘致等に取り組んできました。その結果、茨城空港の開港や北関東道の来春の全線開通、圏央道の部分開通、工場立地面積、農業産出額などに成果が上がってきております。

しかし、一方では、県や県出資団体等の保有土地問題が一挙に表面化。県

た。

今後は、限られた財源を最大限に活用し、希望の持てる地域社会を実現することや、医療や福祉、教育、環境など県民ニーズにどう応えていくのかが大きな責務となつてまいります。そのため、これまで以上に地域に根差した議員活動に取り組む決意を込め、九月に会派名を「いばらき自民党」に変更するとともに、県庁立て直しを一番目に挙げた「政策、パンフレット」を初めて作成。十一月には景気・雇用対策と財政の早期健全化を最重要政策に掲げた平成二十三年度重要政策大綱「元気度日本一のいばらきを目指して」を知事に提出しました。

わが党は、大綱等に盛り込んだ県民生活最優先の政策の実現に向け、全力を傾注してまいります。県民の皆様には、幸多き新春を迎えられますよう、ご祈念申し上げます。

民主党



民主党
茨城県議会
議員団代表

長谷川 修平

県民が愛着を持てる茨城の実現

師走を迎え県民の皆様におかれましては如何お過ごしですか。今年も大変なご支援をいただきありがとうございます。

さて、今任期四年間における民主党の最大の変化は、民主党が国民の選択をいただき政権交代を実現したことです。県内では茨城空港の開港による交流拡大、東海村でのJ・P

公明党



公明党
茨城県議会
議員

井手 義弘

希望と安心の茨城づくりに全力

年の瀬を迎え、皆さま方には、ご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。この度の県議選では、候補者全員当選を果たすことができました。温かいご支援に感謝申し上げます。

民主党政権の混乱は目に余るものがあり、国政への不信感が極限に達しています。さらに、厳しい雇用情勢、低迷する所得、人口減少・超高

自民県政クラブ



自民県政
クラブ代表

江田 隆記

活力溢れる茨城づくりをめざして

師走を迎え、県民の皆様には何かと忙しい日々をお過ごしのことと拝察致します。

今年には円高・デフレの経済危機の波が押し寄せ、企業の業績悪化や厳しい雇用状況も深刻さが増した一年でした。昨年は百年に一度と言われ

日本共産党



日本共産党
茨城県議会
議員団長

大内 久美子

力を合わせ暮らし守る県政へ

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。「くらしを守ってほしい」「国保税

介護保険など負担が重い」一切実な声をたくさん伺っています。私も県民要望の実現に力を尽くしてまいりました。子どもの医療費助成は小学三年まで拡大され、三十五人学級も小学一

今任期の四年間は、国の三位一体の改革による地方交付税収入の大幅な減少や税収の伸び悩みなど、県財政はひっ迫の連続でした。さらに、県住宅供給公社の破産など出資団体等が足を引っ張り危機的な財政状況が続いている四年間でもありました。

このような状況の中、財政再建を図りながら生活大県づくりを進めていかねばなりません。医師不足対策、少子高齢化対策、救急医療や医科大学の誘致、科学技術の振興や農業の振興、中小企業の育成など県民の願いが叶えられるよう将来を見据えた政治活動に全力で取り組んでいく決意です。今後も県民の皆様が安全で安心して生活でき、さらに「活力溢れる、夢のある茨城づくり」に取り組んでまいります。

四年と中学一年に広がりました。県西部地区への養護学校の新設も計画されています。県立友部病院の廃止をやめさせ、来春には県立こころの医療センターとしてオープンします。県立こども福祉医療センターの移転は、関係者のみなさんの運動で撤回となりました。

県民の願いと運動が県政を動かしていることを実感しています。いま無謀な土地開発のツケが県民を襲っています。TX沿線開発や常陸那珂港など開発の見直しが必要で、ムダづかいをやめ、税金は暮らし優先に使わせましょう。TPP参加に反対し、農林水産業を再生、中小企業の振興こそ景気回復の要です。希望がもてる茨城県政へ、引き続きみなさんと力を合わせてまいります。